

POWER!



2014年
11月
vol. **36**

平成26年(2014年)
11月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>



会員増強を目指して 組織強化に関する担当者全国会議開催される

9月18日(木)、東京・スクワール麹町において、標記全国会議が初めて開催されました。これは、日本薬剤師連盟だけでなく都道府県を含めた各地域の実情を踏まえて組織強化を考えていきたいとの趣旨で行いました。会議では、組織強化委員会からの報告として「大阪府箕面支部での名簿管理と活用」、「北海道旭川支部での連盟活動に関する啓発活動」があり、先進的な事例、地道な事例として紹介されました。また、「前組織強化委員会」で実施したアンケート結果の報告「もあり現状を理解する上での分析報告になったと考えています。今後は、これらの事例報告を参考にしていきたい。また、各都道府県での取り組み事例等を紹介いただきながら、全国規模での組織強化に取り組んでいきたいと考えています。」

組織強化を目指して

どのような団体にも「組織強化」は古くから重要な課題です。日本薬剤師連盟にとってもそれは例外ではありません。山本会長新体制になってからも、組織強化委員会は引き続き活動をし、問題山積の現状をいかにして打破できるかを真剣に議論しています。

日本薬剤師連盟のホームページを閲覧いただくと、「薬剤師連盟百年、組織強化を目指す」というタイトルのトップページが始まります。

『医薬分業の実現に向け、政治活動を強化するため、明治26年6月に「日本薬剤師会」が創設されました。その後、明治42年に日本薬剤師会が法人化したために、大正3年(1914年)に政治活動を継承する目的で「医薬分業期同盟」が組織されました。日本薬剤師連盟の原型がここにあります。すなわち、2014年は百年目に当たります。医薬分業は分業率ですでに定着したと言っても過言ではない数字になっています。しかし、その質を問われるようになってきました。その他にも、持続可能な社会保障制度への見直しの中で、医療費の適正化は喫緊の政治課題です。日本薬剤師連盟の活動も、薬剤師職能の確立とともに政治に対しての発言が重要になってきます。これからの薬剤師百年を考えると、若い世代の薬剤師にも、政治に関心で済まないということへの理解を発信し続けなければならない。』という

組織強化委員会の設置

「日本薬剤師会には馴染みがあっても日本薬剤師連盟はよく知らない」という声がよく聞かれます。薬剤師会の会費は払っても薬剤師連盟の会費は払いたくない。薬剤師の多くはそのような認識なのかもしれません。

このような現状を憂いて、日本薬剤師連盟に組織強化委員会を設置しました。課題は3つです。

1. 連盟会員増強
2. 財政基盤強化
3. 集票力の強化

いずれも一朝一夕には解決できない難問ばかりです。

平成24年度に全国各ブロックから選任された委員11人で新設された組織強化委員会は2年間毎月委員会を開催してきました。それまでの議論をまとめたものが、組織強化委員会報告書(平成25年9月19日)であり、平成25年度臨時評議員会で報告承認されました。

当該報告書を受けて、平成26年度事業計画には「組織の強化・拡充」の項目で、「日本薬剤師連盟に引き続き組織強化委員会を設置して連盟組織強化の企画立案し、実行すること。さらには、「都道府県薬剤師連盟との連携・協力のために、都道府県薬剤師連盟にも組織強化委員会(仮称)の設置、連盟ブロック協議会(仮称)の設置、連盟ブロック協議会でも組織強化委員会(仮称)の設置を検討する」ことが盛り込まれました。

平成26年度の事業計画に沿って検討した結果、都道府県薬剤師連盟については、組織強化担当役員を選任と、連盟ブロック協議会においても、組織強化担当

役員との協議を行うこととし、本年7月の全国会長・幹事長拡大会議でご承認をいただきました。

車の両輪

日本薬剤師連盟組織強化委員会の活動の一端を紹介させていただきましたが、まだまだ緒についたばかりです。薬剤師連盟の存在意義を知らない若手薬剤師が多かったなかで、平成20年度から始めた全国若手薬剤師フォーラムはこれまでに6回開催してきました。

このフォーラムに参加した若手薬剤師の中には、連盟活動の意義や重要性に初めて気が付き、日本薬剤師連盟の委員会や都道府県薬剤師連盟の役員で活躍している方も多くなってきました。また、都道府県の青年部を設立して活躍しておられるお話もよく耳にするようになってきました。

これらの活動は、我々にとってかけがえないことだと思つと同時に、将来に向けての薬剤師職能の更なる発展にはなくてはならない貴重な人材になることと確信しています。

我々は、薬剤師会と薬剤師連盟が車の両輪になってこそ将来の薬剤師ビジョンの確立があると常に訴えています。一人でも多くの薬剤師にその思いが伝わることを信じてこれからも連盟活動をしていきたいと考えています。どうぞご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。

訃報 中西敏夫 元会長 逝去

日本薬剤師連盟元会長中西敏夫先生が、病氣療養中のところ9月15日にご逝去され享年79、10月14日に正五位が叙位されました。ここに生前のご厚誼に深謝申し上げ謹んでご通知申し上げます。

風力計



日本薬剤師連盟 副会長 萩野 構一

薬剤師と政治との関わり

読者の皆さんも日々忙しく薬剤師として活躍されていることと思います。日本薬剤師連盟は、山本会長を筆頭に新体制での活動を始めて約半年が過ぎました。

この間、山本会長、若本副会長兼幹事長はじめ連盟役員は様々なロビー活動を行ってまいりました。

日本薬剤師会が予算・税制に関する要望書をまとめ、日本薬剤師連盟が「自由民主党薬剤師問題議員懇談会」のメンバーを中心に訪問し説明をさせていただいてまいりました。

その要望の多くは、来年度の概算要求に反映され、税制要望についても検討されています。

その一つですが、今年度初めて予算化された、薬局・薬剤師を活用した「健康情報拠点推進事業」について、来年度も継続して予算措置をしようという要望してきました。その結果として、来年度概算要求に盛り込まれたことはすでにご案内の通りです。このように、日本薬剤師会と日本薬剤師連盟とが丸くなって取り組んでいることも知っていただけたら大変有難く思います。

普段はなかなか見聞きする機会が少ない我々の連盟活動を、どのように薬剤師の皆さんにお伝えできるかということとを、本機関紙「POWER」の編集では色々工夫しながら取り組んでいます。メインタイトルを「日薬連盟だより」から「POWER」と名称を変えましたが、これからも日本薬剤師連盟の機関紙としての役割を担い、情報提供をしていきたいと考えています。より多くの薬剤師の皆さんに読んでいただき、ご意見をいただければ幸いです。

ここで 言わせて! 本音でtalk

マイ
オピニオン

政府は、厚生労働省は、日本薬剤師会は、私たち現場の話を聞いて決めたのか!?
聞かせて下さい!
あなたの意見・見解!

『調剤にかかるポイントサービスについて』

私たちの職能をポイントで還元してはならない

ポイント付与に決着を!

医療人として国民に奉仕することは、当然である。それは知識・技能を還元することであって、決して物品として還元するものではないと昨今改めて思う。

保険薬局におけるポイント付与は平成24年に原則禁止となった。これは薬担規則が一部改正されたことと認識している。ポイント付与の問題は禁止しただけでは済まない。今の時代、クレジットカードや電子マネーのような汎用されているカードによるポイントも存在しているのも事実。これらを全て一元的に禁止することは、利便性をもたなくしてしまいかねない。しかし、医療提供施設に求められている公平・公正な医療の提供の観点から、この問題に対して国も薬剤師会も本気で改善の策を検討してもらいたい。一部の薬局ではいまだに悠然とポイント付与を消費者に還元している。明確に黒であるという意思表示を法で定めて頂きたい。(群馬県 開局T.Yさん)

今の日本の企業の中でポイントカードを利用している会社・店舗は一体、どれだけあるか? 商行為として、現金やクレジットに相当するポイントであれば問題ない。しかし、非営利を求められる薬局はどうであろうか? 公平であるべき医療費からポイントとして消費者に還元されていくところに問題がある。ポイント等を付与している薬局を批判するより、なぜいけないのかを説き、納得して戴かなければならない。そのところを、日本薬剤師連盟は国会議員にしっかりと働きかけ、ポイント付与の問題に決着をつけてもらいたい。(北海道 開局S.Tさん)

次号は、『危険ドラッグに対する私の主張』について本連盟ホームページ「POWER読者アンケート」から、どしどしご意見をお送りください。(その他のことに対するご意見でも結構です)
<http://www.yakuren.jp/>

平成26年度臨時評議員会開催される

〜藤井もとゆき参議院議員の支援を確認して〜

新執行部となり、初めての「平成26年度臨時評議員会」が、平成26年9月17日に開催され、大澤泰輔常任総務の司会で、9月15日にご逝去された中西敏夫元会長に黙祷を捧げ、評議員会が始まりました。

山本信夫会長は、47都道府県薬剤師連盟から1県を欠いている状況であるが、年度末までには、解消して、組織内候補として決定している藤井もとゆき参議院議員の支援を確認して一丸となって活動して参りたいと挨拶しました。

来賓挨拶で、松本純衆議院議員は、次期診療報酬改定については消費税アップの再調整をするに留め、秩序ある改革を目指すという立場で活動していると挨拶しました。藤井もとゆき参議院議員は、文部科学副大臣に就任したことを報告し、中西会長の時代から、薬学教育6年制に取り組ませて戴いた。現状では、参議院に薬剤師議員が1人しかないという状況になっている。現在、副大臣とな



り制限があるが全国を廻りたいと考えている。国会において、薬剤師議員として主張し、政策を実現できるように力を尽くしたいと挨拶しました。とかしきなおみ衆議院議員は、厚生労働委員会で危険ドラッグのことについて質問させて戴いた。学校薬剤師の活動等を紹介すると、委員からは、薬剤師はそんなことをしていたのか? という声が聞こえてきた。薬局を活用した疾病予防の普及と若手の政治参加に尽力したいと挨拶しました。

議事では、会則により小林健治前議長が仮議長となり、新議長に赤松路子評議員

員、新副議長には金安伸一評議員が選出されました。

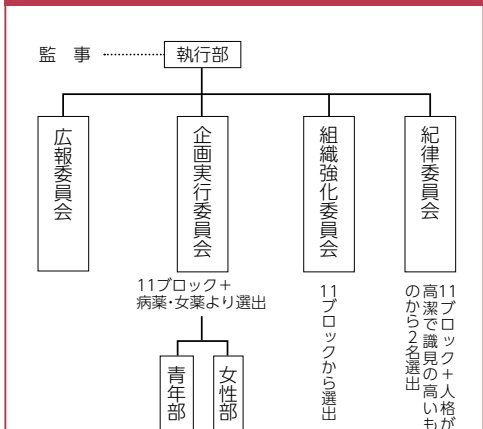
新議長・副議長の議事進行により、岩本研副会長兼幹事長から日本薬剤師連盟の活動について「図1・2」等をもちいて説明がありました。直近の政治課題については、石井甲一常任総務から薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業、危険ドラッグ対策、消費税対応等について説明がありました。

平成25年度会務並びに事業報告を尾島博司副会長、平成25年度収入支出決算報告書を荻野構一副会長が提案しました。そして、根本清美監事より、適切に行われていることを確認した旨の監査報告がありました。

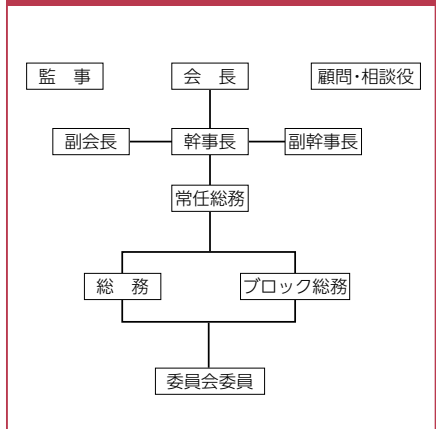
質疑では、未収金の取り扱いについての質問に、荻野副会長から実際の収入金額を計上しているため、未収入金計上していないが、参考資料として示させて戴いた。今後解決すべき課題と考えている。また、責任負担金については、都道府県状況を把握しており、会費賦課方式の変更を検討しているため、年度内に結論を出すよう努力したいと回答がありました。

休憩後、岩本研副会長兼幹事長から全国藤井もとゆき薬剤師後援会、藤井もとゆき中央後援会を立ち上げ、後援会活動を活性化させることの提案があり、協議が行われました。前述のとおり、新執行部が多くの課題を解決し、会員が納得出来る環境づくりを目指している姿勢を明確にし、執行部の提案が全て承認されました。

委員会組織図



日本薬剤師連盟の組織



〜薬剤師国会議員のパーティー開催される〜



10月20日(月)
とかしきなおみ君を
育てる会



10月27日(月)
松本純君を
励ます会



11月5日(水)
藤井もとゆき君と
語る会

薬剤師の将来が見える統一地方選挙!

平成26年度の「第2回全国会長・幹事長拡大会議」が11月5日の午後より都ホテルで開催された。

鳥海常任総務の司会により開会が宣言され冒頭で山本会長は今日の「全国会長・幹事長拡大会議」、その後の「藤井もとゆき薬剤師後援会第一回役員会」、そして「藤井もとゆき君と語る会」の中で我々のやるべきことをお伝えしたいと挨拶があった。続いて薬剤師議員の松本純衆議院議員から沖繩県知事選挙の現状が伝えられ様々な難関を乗り越え連盟の力を発揮していただきたい。そして来年の統一地方選挙においても推薦候補者に何票の応援が出るのか後援会名簿の精度が上がるよう頑張ってもらうことが次期参議院選挙にも役立つ。そして薬剤師連盟が何票取れる組織かを小選挙区の候補者たちは見ていると連盟の組織力に期待をされた。また、今後、消費税がどうなるかにより次の診療報酬改定の中身が決まるのでその方向性が決まれば全力で頑張っていくと力強いご挨拶をいただいた。

続いて座長の選出が行われ岩手県薬剤師連盟の畑澤会長が選任されこの議事を進めた。

まず報告事項から始められ日本薬剤師連盟の活動として岩本幹事長より第2次安倍改造内閣の閣僚・自民党新役員に日本薬剤師会の要望を伝えたこと、自民党薬剤師問題議員懇談会の議員が衆参合計232名となったことが説明された。次に荻野副会長より9月に行われた組織強化に関する担当者全国会議の報告がありこれは中央だけの議論では

地域の連盟にまで進みにくいため都道府県にも担当役員をお願いいただき議論して行きたいと説明があった。続いて手塚副幹事長から11月29日、30日に予定されている「全国薬剤師フォーラム2014」についての案内があり今回は今までの「若手薬剤師フォーラム」と違い平成28年に予定されている参議院選挙に向けて充実した後援会活動を行うためのフォーラムであることが周知された。また尾島副会長からはブロック協議会の予定、安東副幹事長から自民党員増強の依頼があった。そして直近の政治課題について、石井常任総務より日薬としての「予算及び税制要望」と厚労省の「予算概算要求」について説明があり、今年だけでなく来年度も引き続き要望していること、また

危険ドラッグについては法制度上は進んできているが検査体制充実のため10倍の予算がつけられたこと、薬物乱用防止に学校薬剤師の活用を下村博文文科大臣に直訴し、それを受けすでに一部の地域で実施される予定であると説明があった。続いて協議に移り岩本幹事長より来春に行われる統一地方選挙の日程説明があり選挙に向けての基本方針、及び推薦候補者に対する協定作成時に考慮すべき事項について提案された。候補者については地元からの推薦により支援すること、特に薬剤師候補者に対しては物心共に協力することが確認され統一地方選挙は次期参議院選挙の前哨戦、次期参議院選挙につながる組織作りを都道府県薬剤師連盟で構築することが確認され閉会となった。

もとゆき Report 藤井もとゆき国会レポート

薬剤師・薬学博士
文部科学副大臣・参議院議員
藤井もとゆき

文部科学副大臣として

9月29日に召集された第187回臨時国会は、同日午後の衆参両院の本会議において安倍首相の所信表明演説が行われ、本国会を地方創生国会と位置付け、若者が将来に夢や希望を持てる地方の創生に向けて力強いスタートを切ることを表明し、11月30日の会期末まで63日間に亘る論戦がスタートしました。所信表明に対する各党代表質問、予算委員会審議に続いて、10月10日には衆議院文部科学委員会、14日に参議院文部科学委員会がそれぞれ開かれ、下村大臣とともに、副大臣として初めての委員会審議に臨みました。冒頭大臣から、2020年は東日本大震災からの復興を世界に示すと共に、学ぶ意欲と能力のある全ての子、若者が質の高い教育を受けられる社会の実現をビジョンに掲げました。また、科学技術イノベーションは成長戦略の重要な柱であり、イノベーションの創出による国際協力の強化と人材の育成に取り組むことを表明しました。

折しも青色発光ダイオードを世界で初めて実現、実用化した、赤崎勇先生、天野浩先生、中村修二先生の3氏がノーベル物理学賞を受賞されることが発表され、改めて我が国の科学技術力の高さを世界に示すものとなりました。次には、薬学研究の分野から受賞者が出ることを期待したいものです。

山形市で開催された第47回日本薬剤師会学術大会、市内の5会場に6000人を超える参加者を迎えて、10月12日、13日の両日、盛大に開催されました。私は文部科学副大臣として文科省を代表し、お祝いのご挨拶をさせていただきました。その後に訪れた展示会場では、製薬会社や調剤関連機器会社など多数の出店企業の一画に、日本薬剤師連盟のブースがあり、私が危険ドラッグに関して解説をした、vol.35 POWER、DVDなどを参加者に配布していただきました。薬剤師の先生方による学校や地域などでの啓発活動を通じて、一日も早いドラッグフリー社会の実現を願いたいと思います。

危険ドラッグ対策を訴える!

学術大会でブースを設置



10月12日(日)・13日(月・祝)に山形県にて開催された日本薬剤師会学術大会にて、本連盟のブースを出展した。連盟活動や藤井基之参議院議員による危険ドラッグ対策の解説を動画にして上映し、危険ドラッグ対策の解説DVDの入った配布物を配った。

※危険ドラッグ対策の解説DVDにご興味のある方は本連盟までお問い合わせください

〈都道府県薬剤師連盟主催〉若手フォーラム開催報告



青森県 若手薬剤師指導者育成 SUMMER Forum 2014 in 青森(9月6・7日)



広島県 第2回広島県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム(9月21日)



新潟県 リーダー養成フォーラム(9月6・7日)



茨城県 茨城県若手薬剤師指導者育成フォーラム(10月5日)



群馬県 若手薬剤師指導者育成フォーラム(9月7日)



秋田県 秋田県若手薬剤師フォーラム(10月25・26日)



ファーマくんがゆく 松本純衆議院議員に聞く

ファーマくん：以下、ファーマ 地下鉄丸の内線の国会議事堂前駅を降り、徒歩2分の所に衆議院第一議員会館がありま

す。その3階の302号室が松本純先生のお部屋です。隣の301号室は元総理の麻生太郎財務大臣のお部屋となっております。今日は、衆議院議員の松本純先生にお話を伺うために、議員会館を訪問しました。

ファーマ 松本先生、本日はよろしくお願ひいたします。まず、先生のご家族構成を教えてくださいませんか？

松本議員 17歳で初めて出会い、まもなく結婚40年を迎える妻・真純(ますみ)、日本オラルでドコモ担当部長の長男・大(だい)、公認会計士で初孫・陸(りく)のパパ見習い中の次男・真(まこと)、獣医として神奈川県に奉職している三男・哲(てつ)、そして、90歳で益々元気な、我が家のゴッドマザーこと母・澄子の五大家族です。

ファーマ 先生は東京薬科大学を卒業とお伺いしましたが、薬学を選んだ理由を教えてくださいませんか？

松本議員 実家が薬局経営でしたから、「資格を持っていないと後を継げないぞ」と父に脅かされ、自然な流れで薬学を選びました。

ファーマ 日本薬剤師連盟の山本信夫会長と同窓だと聞いていますが、大学でのお付き合いはあったのでしょうか？

松本議員 当時、山本信夫君は写真部、隣の部室に陣取っていたのが私の所属する軽音楽部です。部室への出入りのときなどによくすれ違い、楽しいお喋りをしていました。当時からおしゃれで向上心旺盛な若者が山本君でした。今もなお互いに青春時代を謳歌しながら、お互いの立場から、薬剤

師を取り巻く環境の改善を目指して、語り合っています。

ファーマ 先生のご趣味の一つが音楽演奏だとお聞きしました。何時ごろから、どのような楽器を演奏されたのでしょうか？

松本議員 最初の楽器との出会いは幼少期のヴァイオリン。毎週一回のお稽古がいやで泣きながらやってました。小学校で合唱団に入団、中学ではベンチャーズかぶれでエレキギター、高校は先輩のオフコースのバンドボーイ、預かったウッドベースをコンボに引き抜かれ、東京薬科大大軽音楽部に行ってもジャズ・ウッドベース、テナーサクソフ、ソプラノサクソフに夢中。当時、星薬科大のビッグバンドに影響され、東京薬科大でも真似したいと楽器集めに奔走しました。現在は、毎年12月に私の忘年会で当時のメンバーも集まり演奏活動を続けており、永田町の仲間からは、「こんな政治家の忘年会は見たい」とよく言われています。機会が合ったら是非遊びに来てくださ。

ファーマ 薬学を学ばれ、製薬企業、薬局に勤められた後に、政治家を目指されたのはどのような理由だったのでしょうか？

松本議員 資格を取るために薬科大へいき、商売を学ぶためにエスエス製薬のチェーン店回りのプロパーになり、早く医薬分業態勢を整えるべき時とサラリーマンを辞め実家に帰り、店舗の改装、多店化に挑戦。二軒目まではよかったのですが、我が家の目の前の再開発でダイエーが新店することから専門店街に三軒目を強行出店。これが苦しい時代の始まりでした。ダイエーも売り上げが伸びない、うちも売れない、一軒ワンポイントで集客することの難しさを学び、商店街・地域全体での活性化

の必要性を強く感じ、地元の同志とともに、街づくり運動に夢中で取り組みました。今でこそ元祖といわれる「野毛大道芸」をスタートさせたのもこの頃です。これらの地域活動やJC活動をしている最中に、地元の鉄道・東急東横線の最寄り駅・桜木町駅の廃止廃線の重大事件が勃発しました。一日に八万人の人々が降り降りする駅が無くなってしまふのですから大騒ぎです。この苦境を乗り越えるには地元の声をつなぐ政治の力が必要と、地元有力者たちからの要望、後押しで横浜市会議員になりました。振り返ってみると、私の政治の原点は「街づくり」ということができると思います。市議を3期ほど務めたところで、平成8年に初めての小選挙区制度での衆議院総選挙が実施されることになりました。自分自身は地方政治のヒヨッコと思っていましたが、他の地方議員に立候補を決意する者なく、いよいよ「一番若い松本が挑戦せよ」という先輩方の声が大きくなりました。薬剤師連盟の中で先頭になって「国民、患者そして薬剤師のためにも挑戦しろ」と強く支持して下さったのが高橋輝一郎先生でした。私が大きな決断をすることができたのも薬剤師の仲間のお蔭様と今でも感謝しています。

ファーマ 横浜市議会議員を経て、平成8年の衆議院選挙で初当選をされておられます。しかし、平成12年の選挙では惜しくも次点で落選されましたが、浪人中はどのような活動をされておられたのでしょうか？

松本議員 長い長い3年4ヶ月の間は大反省することそのものが活動でした。初当選して以来ご指導いただいた麻生太郎先生からは、「おい、松本。何票とった？」「8万1千票」「何票、足りなかった？」「1万票」「今お前は反省ばかりして全人格を否定されたと思っていないか？」「百八十度違う自分を創り出そうと苦しんでいないか？ 変えなければならぬのは足りなかった1万票の有権者の声だ。8万を越える有権者は今までの松本に期待している。何が足りなかったのか、よく考えろ！」との一言でした。この一言を胸に、地元での生活すべてが選挙準備活動といっ

ても過言でない毎日でした。

ても過言でない毎日でした。

ファーマ 自民党にとって苦しい選挙戦において、花の一区で松本先生だけが当選されたということがあったと伺いましたが、秘訣を教えてくださいませんか？

松本議員 全国の都道府県の「一区」は県庁所在地などが含まれており、古くから住む人がいる一方で、人の出入りも多いため、「一区現象」などといわれています。「出来ることはすべてやる！」をテーマに、落選中でテレビに出演することなどできない私が知名度を上げるために数え切れないほどの「ポスター」を貼り出し、何を考えているか伝えるために一日も休まず朝の駅前に立ち続け、目の前を通り過ぎる皆さんに「まちかど政治瓦版」を配布、さらに私の毎日の活動を予告するために「ホームページの毎日更新」が必要でした。また、一人でも多くの皆さんとの交流を深めるために「各種会合への参加」に精を出しました。そしてさらに企業秘密の作戦をいくつか実施したところ、無事に、平成15年の総選挙で復帰を果たすことができたのです。

ファーマ 麻生先生が総理のとき内閣官房副長官として、総理の外国訪問時には常同行されたといいますが、一番の思い出を教えてください。

松本議員 総理大臣の外国訪問には通常、2人の官房副長官が交代で随行しますが、後にも先にも「外交専任官房副長官」を拝命したのは私だけではないでしょうか。すべての外交日程にお供したくさんの思い出もできましたが、最も印象に残っているのは、世界がリーマンショックに見舞われ、2008年11月にワシントンで初めてG20が開かれたときのことです。中川昭一財務大臣と共に随行し、世界経済が立ち直るためのきっかけとして、日本が1000億ドル(10兆円)をIMFに貸し付けると提案したことでした。G20の首脳たちは麻生太郎総理の発言に大きな驚きを見せました。問題解決に向き動き出したのはこの日本からの提案だったと私は確信しています。また、翌年1月20日には当時のブッシュ大統領からオバマ大統領

に交代する時期にアメリカを訪れ、政権交代チームのオルブライト元国務長官と面談し、「麻生経済再生プラン」を説明する役目を担ったのが、なんと私で、わが国を代表しオバマ政権に初めて接触しました。そして、翌年の2月には世界の首脳で最も早くホワイトハウスに招かれ、オバマ大統領との日米首脳会談を開くことができたのです。

に交代する時期にアメリカを訪れ、政権交代チームのオルブライト元国務長官と面談し、「麻生経済再生プラン」を説明する役目を担ったのが、なんと私で、わが国を代表しオバマ政権に初めて接触しました。そして、翌年の2月には世界の首脳で最も早くホワイトハウスに招かれ、オバマ大統領との日米首脳会談を開くことができたのです。

ファーマ 先生の政治信条を教えてください。

松本議員 「保守」です。人々は皆、自力で生きていこうと努力しています。しかも法律や制度にのっとり、自分流の生き方を作り上げています。日本の100年を超える老舗は、常に変化しているといわれます。「保守」とは、常に変わらないのではなく、守るべきものを守るため、時代の流れに合わせた「改革」を進めることです。ただ、政治が大きな「革命」を起こし、明日も変わらない平穏な日常生活を描いている人たちが、どのように生きていったら良いか分からなくさせてしまうようなことは許されたいと思っております。

ファーマ 奥様は先生の政治活動をどのように思われておられるのでしょうか？

松本議員 「すいぶん前ですが、あなたが政治の道を歩む姿を夢で見ました。本当になってしまいましたが、ときどき言われます。全面協力に頭が下がります。

ファーマ 最後に、全国の薬剤師に対してメッセージをいただけませんか？

松本議員 国家資格を持つ薬剤師の皆さんは、国民や患者さんから頼りにされる存在です。制度にがんじがらめで自由が無いと思わないで！ 仕組みを学ぶことを楽しみながら、積極的に能動的な薬剤師を目指して欲しいと思います。同じ薬剤師として皆さんが少しでも働きやすい環境を作っていくため、政治の場から応援していきます。

ファーマ いつも笑顔絶やさず、優しい気持ちにあふれたインタビューができました。大臣を目指して頑張ってください。ありがとうございました。

松本議員 こころいそ、ありがとうございます。

編集後記

秋の気配が感じられるようになって9月15日、中西敏夫 元日本薬剤師連盟会長が逝去された。温和ではあるものの、一度決めたことは最後までふれずに突き進むという性格は誠に頼もしく、この会長のために何とかしたいという気持ちでお伝えした。平成14年度の診療報酬改定において、内科・歯科・調剤が同率のマイナス改定となったことを受けての会長就任であり、就任以来多数の国会議員を訪問しては「1:1:0.4」を繰返し訴えていただいた。お陰でその後の改定では公平な改定が守られている。

40年にわたる薬剤師の夢であった薬学教育6年制が、平成16年の通常国会で実現した。5月13日の参議院文教科学委員会における採決を傍聴席からご覧になり、可決された瞬間の笑顔が忘れられない。引退記者会見で会長時代に一番印象に残っている出来事を聞かれ、その瞬間だったと話されていた。

平成18年6月には医療法が改正され、薬局が「医療提供施設」と位置づけられた。処方箋受け取り率が50%を超えるまでに進展したことが背景にあるとはいえ、中西元会長の献身的ともいえる国会議員、医療関係団体、行政等への働きかけには、頭の下がる思いであった。

FAPAの日本開催等中西元会長のご功績は数え切れない。当時の行きつけの飲み屋で、もう一度一緒にお酒を飲みたかった。ご冥福をお祈りする。

広報委員

- 生田泉太郎 安東 哲也
- 大澤 泰輔 鳥海 良寛
- 大原 整 榑方 絢子
- 近藤直緒美 根本 陽充

(K-I)